

## 八鹿青溪校区小中一貫教育だより

八鹿青溪校区小中一貫教育 校長会発行

令和7年3月3日(月)

第3号

### 第3回 中学校登校【1月21日】

1月に第3回6年生中学校登校を行いました。1回目よりも2回目、2回目より3回目と少しずつ緊張した顔つきから、ずいぶん柔らかい表情になり、授業に向かう姿にも真剣な気持ちが表れていました。今回は、全て中学校の先生による授業を受け、班で意見を出し合ったり考えたりする授業、自分の感性に沿って混色を工夫する授業などがありました。仲間と協働して学習したり、お互いに刺激をしながら学習したりする姿に、中学校生活に向けた希望が感じられました。7月と10月の中学校生活を体験することで不安が軽減されるとともに、他の小学校の仲間とのつながりが生まれてきたことも感じています。



中学校の先生による技術の授業。木を切って「ぴったり6cm」とする作業に班の仲間と協力して取り組みました。



中学校の先生による理科の授業。各自で考え、班で出し合い、他の班の考えも聞き、多くの考えにふれました。



中学校の先生による美術の授業。紙粘土の鯛焼きに「混色」を工夫して、香ばしくて美味しそうな色を着けました。

### 入学ガイダンス八鹿青溪中学校入学説明会

3校時は児童向けの入学ガイダンスです。中学校での生活や学習について、担当教諭から説明を受けました。また、5校時は授業参観もあり、保護者の皆さまに中学校で学習しているお子さまの姿をご覧いただきました。普段よりも緊張しつつも、課題に向かって頑張っている姿が印象的だったのではないのでしょうか。そして、6校時は保護者も参加して「入学説明会」が開催されました。

年間3回を計画していた中学校登校は、今年度の予定通り1日を通した日程で実施することができました。3回の中学校登校により、6年生は中学校の様子を少しずつ知り、回数を重ねるごとに進学への不安を小さくしていきました。それぞれの学校で、小学校生活をしっかりと仕上げ、中学校に向かってほしいと思います。



入学ガイダンス。中学校の先生からいろいろな話を聞くと、中学生になるという気持ちや実感が高まりました。



具体的な学校生活や授業の話も聞きました。小学校との違いを再認識するとともに、楽しみなことも増えました。



入学説明会。親子で各担当の先生方から話を聞き、入学に向けての準備を確認しました。制服の採寸も行いました。

# 令和6年度八鹿青溪校区小中一貫教育のまとめ

八鹿青溪校区小中一貫教育では、専門部会を「まなび部会」「ふるさとそうあん部会」の2部門に分け、小中一貫の目標である「学力向上」と「地域の活性化」に向けた取組の推進を進めてきました。本年度の各部会の取組を報告します。

## ■まなび部会の取組■

### (1) 今年度の取組

「学力の向上」に向けた授業改善

- ①「生き生きと表現する児童生徒の育成」を八鹿青溪校区共通のテーマとし、実践を推進する
- ②「小中一貫キャリアアップ研修」の実施により、教員の資質向上と小中教員の交流促進を図る
- ③各教員が他校・他校種へ1年に1回は参観する「小中相互授業参観」の機会を作る。

### (2) 成果と課題（取組②については「一貫だより第2号」に掲載のため省略）

#### ①-1 授業を通して思考力・表現力の向上を図る取組

- ・発表やグループ対話、タブレットを活用した児童生徒相互の意見交流、他校との交流による多人数での対話等、多様な表現の場を設定した。
- ・動画作成やスライドを活用した発表等、多様な表現方法を工夫することができた。
- ・子どもが本時の活動内容を知り、見通しをもって授業に臨むことが大切である。また、子どもに試行錯誤させる場面の設定が必要である。

#### ①-2 日常の活動の中で表現のスキルを向上させる取組

- ・スピーチタイムやペアトークの時間を設けるなど、各校で方法も内容も多様な表現活動の実践が行われている。
- ・学期ごとの「がんばり発表」や交流する場としての「対話タイム」など、全校的な表現の場を設けている学校もある。
- ・話し手を育てることと同時に聞き手を育てることが重要である。

#### ③ 他校種の参観は、それぞれの校種による学び方や授業形態の違いを実感し、9年間を見据えたつながりのある指導の重要性を認識できた。

- ・学校ごとの雰囲気を感じ、教室掲示や環境づくり、指導や支援のあり方も参考になった。
- ・学校で行われている研究授業のアナウンスや小中で校時表を共有できればさらにスムーズな参観が可能となる。



八鹿小「グループ対話」

## ■ふるさとそうあん部会の取組■

### (1) 今年度の取組

- ①「そうあんくんの日」の取組の推進
- ②「そうあんくんお手伝い大作戦」の取組の推進
- ③地域との連携

### (2) 成果と課題

#### ①「そうあんくんの日」の取組

- ・毎月、第2・第4水曜日の取組として定着しており、読書、自学、グッドメディア、お手伝いに積極的に取り組んでいる。
- ・当日、校内放送で知らせたり、「草庵先生の歌」を流したりして意識づけを図っている。
- ・保護者からのコメントは肯定的なものが多い。コメント記述が負担にならないようにしたい。

#### ②「そうあんくんお手伝い大作戦」の取組

- ・ポイント制により自分の頑張りが視覚化されるので達成感がある。
- ・多くのお手伝いの例が掲載されており、新しいことにチャレンジする機会になっている。
- ・保護者からの温かいコメントが意欲向上につながっている。保護者の協力が不可欠である。

#### ③「地域との連携」の取組

- ・小学校では、米作り、浅黄豆栽培、書き初め指導、クラブ活動講師などで地域の方の支援を受けている。中学校では、地域のクリーン作戦への参加、各地区のハザードマップ作成、浴衣の着付け体験などで地域との連携を図っている。



高柳小「タブレットの活用」

来年度に向けて、①学力の向上のための系統的な学習指導の確立、②保護者・地域住民への啓発強化の継続、③学校運営協議会との連携、④教員の交流促進が課題として考えられます。今後とも小中一貫教育を進めつつ、課題の克服に向けて取り組み、より充実させていきたいと考えています。